

平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社ナガオカ
代表者名 代表取締役社長 梅津 泰久
(コード:6239、東証 J A S D A Q)
問合せ先 取締役管理本部長 楯本 智也
(TEL. 0725-21-5750)

平成 30 年 6 月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向及び市場環境、並びに本社移転の決定に伴う損失の発生を加味し、平成 29 年 8 月 10 日に公表しました平成 30 年 6 月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 6 月期通期連結業績予想の修正

(平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,188	211	201	124	35.49
今回修正予想 (B)	4,340	341	428	126	36.15
増減額 (B-A)	152	129	226	2	
増減率 (%)	3.6%	61.1%	112.0%	1.5%	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 6 月期)	2,956	△486	△491	△722	△330.00

2. 修正の理由

当第 3 四半期連結累計期間における売上高は、水関連事業において予定案件の受注の遅れや失注の影響で当初の予想を大幅に下回る見込みではありますが、エネルギー関連事業においては、受注が積み上がっており、当初の予想を上回る見込みです。これにより、前回発表予想 4,188 百万円に対し、152 百万円増の 4,340 百万円となる見込みです。

営業利益につきましては、貝塚工場の売却と姫路工場への移転による効果により、固定費の削減を実現したこと、大連工場で高い稼働が維持できたことに加え、製作中の案件に係るコスト削減を徹底して実行したことにより、通期においても製造原価が大幅に低減できる見通し

となりました。これにより、前回発表予想 211 百万円に対し、129 百万円増の 341 百万円を見込んでいます。

経常利益につきましては、営業利益の改善に加え、第 2 四半期累計期間において計上した保険解約益等により、前回発表予想 201 百万円に対し、226 百万円増の 428 百万円となる見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、第 2 四半期累計期間において計上した過年度決算訂正関連費用に加え、本社移転の決定に伴う移転関連費用として 23 百万円を見込んでいます。また、非支配株主に帰属する当期純利益が増加することにより、前回発表予想 124 百万円に対し、2 百万円増の 126 百万円となる見込みです。

なお、本社移転につきましては、本日、別途開示しました「本社移転及び特別損失の計上見込みに関するお知らせ」をあわせてご覧ください。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により予測と大きく異なる可能性があります。

以上